

「真の父母様との心情圏一致」



イエス様が語られた放蕩息子の例え話があります。ここには父と二人の息子が出てきます。家を飛び出した弟は父からもらった財産を使い果たし、豚のえさでも食べようかと思うまで生活に窮し、とうとう父のもとに帰ってきます。すると父は、遠くから走って来て、息子をかき抱きます。息子が、「私はもう息子と呼ばれる資格がありません。雇い人にして下さい」と言おうとするのを途中でさげり、祝いの宴会を開くのです。これが神様の心です。私たちが悔い改めて神様に帰ろうとすると、神様は謝罪の言葉を聞くよりも喜びが先立ってお祝いしたいのです。

しかし、兄はこの状況を見て気分を害します。お父さんに対して、「私は何年もあなたに仕えてきました。それなのに放蕩したあなたの子が帰ってきたら宴会をして、なぜ私には一度もしてくれなかったのか」と言いました。お父さんは、「あなたはいつも私と一緒にいる。しかし、あなたの弟は死んでいたのに生き返り、いなくなっていたのに見つかったのだから、喜び祝うのは当たり前である」と答えました。このことから父と長男は、いつも一緒にいたとしても、心は離れていたことが分かります。

兄というのはパリサイ人や律法学者たちのことですが、私たちも真の父母様と一緒にいる立場として、知らないうちにこの兄に似た者になっているかもしれません。天の父母様、真の父母様は、例え話の父のように、寝ても覚めても私たちの家族、親族、友人、知人を心配し、帰って来たならどれほどお祝いしようかと思いつけておられます。果たして私は、私の周りの人をここまで愛しておられる真の父母様の心情と一つになっているでしょうか。例え話で、もし兄がお父さんの心を察し、お父さんの代わりに弟を探し出し、訪ね、お父さんの弟に対する愛と「帰って来るのを待っている」という言葉を伝え、説得できたならどれほどすばらしかったでしょうか。そして弟が帰って来た時には父と同じ心情でお祝いする兄であったならお父さんはどれほどうれしかったでしょうか。

氏族メシヤ、伝道に願われているのはここです。真の父母様は一組なのですべての人を訪ねていくことは不可能です。それで私たちを代表として選ばれ、誰も受けたことのない真の愛とみ言と祝福を下され、親子の関係を結んで下さいました。その私たちが、真の父母様の代わりに、「豚のえさを食べる」ような窮地に親族が陥る前に訪ねてあげ、真の愛とみ言で復帰してあげなければならぬのです。

これまで家族、親族、友人、知人を伝道する時間はありました。み言を伝えた人もいますが、まだ伝えられていない人の方がたくさんいます。私たちを迫害する人もいます。しかし、真の父母様は、私たちが怒罪のように感じる人でさえ、喜んでかき抱いてあげたいのです。私の愛では限界があるかもしれませんが、だからこそ真の父母が子を愛するその心情と一つになって訪ねていきましょう。

本教会の礼拝に初めて参加された方を心から歓迎いたします
神様と真の御父母様の祝福が共にありますよう。お祈り致します

- 1、お誕生日を迎えた食口の皆様、おめでとうございます。
- 2、2013年伝道勝利のための「第3次50日路程」が行われています。
期間：2013年7月2日(火)～8月20日(火)【50日間】
スローガン：「新氏族メシヤ活動の定着と爆発的伝道」
- 3、真の父母様聖和一周年記念100日精誠祈禱会が行われています。
期間：天曆4/7～7/17(陽曆5/16～8/23) 21:00～22:30
- 4、女性のための理想家庭講座
日時：7月29日(月) 10:30～15:00
場所：京都教会
- 5、京都を愛する書写の会
日時：7月30日(火) 10:30～ 場所：京都教会
- 6、早朝聖地祈禱会
日時：8月1日(木) 5:00～ 場所：京都御所
- 7、東アジア(日韓)文化講演会
日時：8月4日(日) 14:00～
場所：サン・アカデミー京都
- 8、2013年度夏季京都教区成和子女・学生部大修練会
日時：8月10日(土)11:00集合～11日(日)15:00解散予定
場所：北都教会
参加対象：小学3年生～高校3年生
- 9、「真のお父様聖和1周年追慕礼拝」(仮称)行事と「清平大役事」
【日程】Aパターン：8月22日(木)～8月24日
Bパターン：8月22日(木)～8月25日又は26日帰国
※Bパターンは、「真のお父様聖和1周年追慕礼拝」終了後から「清平大役事」のスケジュールになります。
- 10、京都セミナー(二日修練会)
日程：8月3日(土)・4日(日)
場所：サン・アカデミー京都
【1日目】13:30～20:00(13:00受付)
【2日目】10:00～16:00(9:30受付)
- 11、しあわせ講演会
毎週金曜日 10:30～、14:00～ 場所：サン・アカデミー京都
- 12、教区全体特別精誠祈禱会
毎週金曜日 21:00～
- 13、神様摂理史の責任分担解放圏完成宣布教育
日程：8/9(金)午後4時～8/13(火)正午
- 14、清平修練会
8/3(土)～8/5(月)、8/9(金)～8/11(日)

【年頭標語】

天地人真の父母勝利解放完成時代

天地人真の父母勝利解放完成時代



京都教会

Holy Spirit Association For Unification
of World Christianity Kyoto Church
世界基督教統一神靈協会

教区長：武藤 努 牧師

京都市右京区西院西高田町6

Tel : 075-313-0539 / Fax : 075-325-2712

E-mail: son_e2013@angel.ocn.ne.jp

京都HP : <http://www.uckyoto.org/>

式次第



執礼者：武藤努教区長

開 会	司会者
黙 禱	全 体
※開会讃頌 聖歌 5 番	全 体
※敬 拝	全 体
※家庭盟誓	全 体
代表祈祷	
讃 頌	聖歌隊
み言訓読	全 体
説 教	八大教材・教本の相続と 新民族的メシヤの召命的責任	
※讃 頌 聖歌 2部-8 番	全 体
※祝 禱	教区長
※全体祈祷	全 体
教会音信	司会者
閉 会	司会者

～お願い～ ※印のある項目は、全員起立して進行いたします

『 生めよ、殖えよ、地に満ちよ 』

今週のみ言

先生が八大教材・教本を作ってきたのは、皆さんに真の父母様の全ての伝統と内容、その秘密までも相続させ、共に天国の門を開いて入っていくためです。この本の中に、あらゆるものが入っているのです。皆さん一人では、いくらやっても絶対に越えていけません。この八大教材・教本を通して、先生と細い紐だけでも連結されて、初めて越えていけるのです。

真の父母様の生涯と歴史を相続しようと思う人は、これからこの八大教材・教本を通して世俗的な環境から抜け出し、自然に新しい道へと導びかれるのです。そのような道がこの教材の中にあるので、これがどれほど貴いかという事実をよく知らなければなりません。

八大教材・教本が中心です。自分の名前を誇示しようとしてはいけません。自分の名前を出して有名になろうとせず、中心の根に接ぎ木することがどれほど重要かを理解して、そのように歩んでいかなければなりません。自分なりに考えるのではなく、先生のみ旨とみ言に従っていかなければなりません。今はもう、整備の時です。全て教えてあげたので、これからは天理にかなった道を行くのです。

先生を愛しているのなら、八大教材・教本を、先生よりもっと愛さなければなりません。そうしてこそ、自分が行くべき目的地、自分が暮らしていける未来の天国が準備されるのです。八大教材・教本の中に天地の内容が全て連結されているので、自分は地上にいても、超越的な天上世界の神様のみ座に向かうときに、門が閉じることなく、道を行き違ふことなく、一本道で通じるのです。ですから、先生の教材を愛さなければなりません。

八大教材・教本は、神様が「私」を訪ねてくる道です。この訓読の八大教材・教本には、神様と出会う道があるというのです。先生が皆さんと会ってあげなくても、「この八大教材・教本を通して毎日、神様と出会う」、このように考える人がいるとすれば、どれほど幸福ですか。かえて先生より、もっと幸福に生きていける、天国の民になれる道があるのです。

このような事実を知れば、皆さんは、この教材が自分の財産、自分の国、自分の世界とも取り替えられないものであることを、悟らなければなりません。

(「天運と聖霊の宿る 八大教材・教本」より)

統一運動

天地人真の父母天正宮入宮戴冠式7周年記念式

天地人真の父母天正宮入宮戴冠7周年記念式が天一国元年天正暦6月13日(陽7. 20)土曜日の午前5時天正宮2階礼拝堂で元老、機関企業長、公職者400人余りが参加する中で行われました。

梁総会長は、この行事の前に『宇宙の父母であられる神様と天地人父母であられる真の父母様が一体となられ、宇宙平和の王として実体的な体をもって直接、天上と地上で主権を統治するようになった歴史的な日である天正宮入内戴冠式の7周年を迎えた』とし、入宮戴冠式7周年の意義について説明しました。

真の子女3世修練会参加者の代表で文信チュル様は、『30日の修練を通じて、多くの経験をする事ができました。原理と生涯路程の講義を通じて、原理的に立てられた中心人物、再臨主の人生と苦難を感じた。天の父母様の大きな御旨のために、来年も2世、3世の学びの機会を与えられた教会の食口の皆さんと真のお母様に感謝します』と修練会の感想を述べられました。

真の父母様の御言葉で『摂理歴史が終わり、また新たな出発をすることになる、天一国時代にあって、私たちは覚悟と決意をなして、天の前に、希望に対して恩返しを成していくことができなければならない』と、『現在の自己の置かれた立場で環境を造成していくこと』を表明されました。また、真のお母様は『異民族を通して、韓国は神が望んでおられる神様の祖国・世界の中心国としてそびえ立つ機会がいつもあるわけではない。祝福2世、3世として天の前に感謝して恩返しする人生を生きていくために我々の環境をより大きく広げていかなければならない』と祝福2世、3世のための教育と支援について述べられました。

真のお母様の御言葉の後、皆、立ち上がってVision2020の勝利と真の子女様2世、3世の希望に満ちた未来を祈願して皆一緒に『祖国賛歌』を歌い、最後に南北統一祖国光復の達成、新天新地創建のために新たな覚悟と決意を固める億万歳三唱で式典は終了しました。

